

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

◇ 平成13年分路線価・9年連続で下落

Q : 平成13年分の路線価が公表されたようですが、今年の傾向を教えてください。

A : 全国平均は昨年より6.2%下がり、9年連続の下落となっています。

【解説】

国税庁は今日3日、平成13年分の路線価を公表しました。それによると、全国の標準宅地の平均額は137千円で、昨年の146千円に比べ6.2%の下落となっています。

都道府県別の平均額も、全都道府県で昨年より下落していますが、東京や名古屋、福岡の繁華街では再開発や交通網整備の効果が顕著に表れ、上昇に転じたところもあります。対照的に下落率が拡大する一方の地方都市もあり、二極化に拍車がかかっているようです。

また、都道府県庁所在都市の最高路線価も公表されましたが、最も高かったのが例年どおり東京銀座5丁目の銀座中央通り（鳩居堂前）で、3年ぶりに上昇し11,840千円（昨年11,680千円）となっています。

圏域別に見ると、東京圏や名古屋圏の下落率が縮小傾向にあるのに対し、大阪圏は下落率が拡大しています。下落率を平成12年分と比較すると、東京圏では▲7.2%から▲5.7%に、大阪圏では▲9.6%から▲9.8%に、名古屋圏では▲4.8%から▲4.2%に、地方圏では▲6.3%から▲5.3%となっています。

ちなみに10月からは、全税務署でCD-ROMによる全国分の路線価図等の閲覧ができるようになり、国税庁のホームページにも全国分の路線価図等が掲載される予定です。

